

# 愛媛森連時報 4月号

発行所 松山市三番町4丁目4番地1 愛媛県森林組合連合会 印刷所 松山市福音寺町728番地 平和印刷工業株式会社  
 電話 089-941-0164 FAX 専用 941-0550 電話 089-947-9155 (購読料1ヶ月120円)

## 愛媛県林業関係職員一覧

農林水産部 部長 久保圭一朗 (敬称略)	森林局 局長 仙波 元衛	林業政策課 課長 薬師寺雅明	林業企画係長 尾崎 一弘	森林計画係長 村上 克和	森林組合係長 金柿 正嘉	木材流通戦略係長 桐島 充子	木材流通戦略係長 大西 亮一	木材流通戦略係長 上村 宗三	林道整備係長 西田 剛士	普及指導係長 松尾由布旗	森林整備課 課長 毛利 美穂	技幹 俊成 秀樹	主幹 中屋 佳吾	主幹 山本 貴人	主幹 清家 康生	主幹 笹岡 司	保護緑化係長 隅田貴美子	森の交流センター担当係長 井上 克博	林地保全係長 羽藤 雅一	治山係長 村上 昌彦	公有林整備グループ担当係長 宮内 千波	公有林整備グループ担当係長 松下 智弘	全国植樹祭推進室 室長 松岡 真仁	主幹 野本 正義	主幹 信高 浩二	総務企画グループ担当係長 中藤 裕靖	事業推進グループ担当係長 松本大樹郎	
行幸啓グループ担当係長 越智 香織	行幸啓グループ担当係長 紺田 勇樹	東予地方局森林林業課 課長 若田 宗孝	主幹 村上 博光	主幹 井上 紀文	主幹 村山 紀文	東予地方局森林林業課 課長 伊勢本広文	主幹 吉原 千裕	東予地方局森林林業課 課長 岡 久夫	主幹 重森 敏男	主幹 越智 仁夫	主幹 矢野 高行	中予地方局久万高原森林林業課 課長 松浦 一博	主幹 佐藤 博栄	南予地方局八幡浜支局流川流域林業振興課 課長 坂本 康宏	主幹 丹原 守雄	主幹 中岡 輝男	南予地方局八幡浜支局森林林業課 課長 仲神 修司	主幹 岡 賢一郎	主幹 谷山 徹	南予地方局森林林業課 課長 松本 修一	主幹 二宮 勇一	南予地方局森林林業課 課長 柳川 倫利	主幹 村川 眞一	林業研究センター センター長 鈴木 教幸	総務室長 渡部 正哉	人材育成室長 越智 慎吾	研究指導室長 西原 寿明	連携推進室長 真木 賢二

## 愛媛県森林組合連合会 第八十三回通常総会開催



県森連は、令和六年三月二十二日、松山市三番町 県林業会館大ホールにおいて、令和五年

度の通常総会を正会員十三名の出席。また、来賓として、愛媛県知事代理 田中英樹副知事、

## 森林J-クレジット活用セミナー

令和六年三月十三日(水)、テクノプラザ愛媛のテクノホールで「森林J-クレジット活用セミナー」が開催された。同セミナーは、県内における森林由来のJ-クレジットの理解促進を図るため、林業関係者、地元企業等のクレジッターや販売や創出に興味のある方を対象としたもので、オンラインを含め約三十名が参加した。

セミナーは主催側の愛媛県農林水産部 西田伸生森林局長のあいさつから始まり、全国森林組合連合会組織部 宮城守秀担当部長に「最近の森林由来クレジットの動向と森林組合系統の対応」について、クレジット創出者・購入者向けに講演いただいた。次に、オンラインでの講演で、「脱炭素における森林クレジットの再評価」について、カーボンフリーコンサルティンク株式会社 清原剛副社長がクレジット購入者向けの講演をされた。続いて、ENEOS株式会社カーボンニュートラル戦略部 村井亮介 上席担当マネージャー、油原かほりチーフスタッフに「ENEOSの森林J-クレジット共同創出の取組みについて」を創出者向けに講演した。



## 木製腕時計 寄贈式



愛媛県森林組合連合会と農林中央金庫は、国産材の利用拡大を目的とした活動を全国的に展開している。今回、その活動の一環として令和六年三月二十一日、愛媛県産材製品市場開拓協議会へ、当会が県産材を利用し製作した木製腕時計の寄贈式を行った。

農林中央金庫 大金浩愛媛県担当部長と愛媛県森林組合連合会 芝芳亀専務より愛媛県産材製品市場開拓協議会 菊池正会長へ木製腕時計三十三個と展示板を寄贈し、本寄贈式は終了した。

協議会は寄贈品を活用し、販売促進活動を行ってもらうことで、多くの方に木製品のぬくもりや香りなどを感じてもらい、県産材の魅力発信に繋げる。

愛媛県議会 三宅浩正議長を始め関係各機関のご臨席を賜り本総会を開催した。

開会の挨拶で芝会長職務代行 者代表理事専務は、「令和五年度については、所謂『ウッドショック』の収束により木材価格は以前の水準へと向かうこととなりました。住宅着工数も減少傾向にあり、人件費や物価高騰から着工件数の減少に拍車をかけている状態です。今後は木材需要を大きく喚起する必要があります。連合会の事業については、新型コロナウイルスの影響から受入れを中止しておりまして、インドネシアから五名を受入れました。研修生を受入れる体制も大きく変革し、早ければ令和六年度中までに技能検定制による検定試験が実施される見込みとなり、これにより研修期間の延長が図られれば林業労働力不足の解消の一助となればと考えております。」と述べた。

令和六年度の事業計画については、「組合員への経済的還元を目指し、系統組合と連携を取りながら林産活動の活性化を進めると共に、情報の収集と提供により『県産材安定供給体制の構築』を進めることを経営の柱とし、愛媛県産材の利用促進に努め、国産原木椎茸の価格安定及び生産量の確保に向けた生産指導・支援に取り組みます。また、主伐後の再造林を推進する為、川上から川下までの林業関係者

**県森連の情報は 随時更新しています。**

「愛媛県森林組合連合会」と検索するか、QRコードを読み取ってください。QRコードはこちらから

- 通常総会提出議案・抜粋**
- 令和五年度 事業報告、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案承認の件
  - 令和六年度 事業計画承認の件
  - 令和六年度 借入金最高限度額決定の件
  - 令和六年度 役員報酬の件

